

【特集】

自然と共生する地域づくり 江川地区をビオトープ化へ

市では、貴重な動植物が生息する江川地区で、自然保護団体の協力もいただきながら、自然との共生を保ちつつ、有機肥料・減農薬などによる米づくりに平成19年度から取り組み始めました。特に、自然を保護する中で農業を行うため、市と農業生産法人、自然保護団体の代表が「農作業調整会議」を持ち、農業者の立場、自然を保護する立場で、それぞれが話し合っ、自然観察会なども行う「自然と共生する中での農業」を目指しています。そして、平成21年度には本格的な「水田型市民農園」をスタートする計画です。